

- ・一人一台端末の活用について
- ・家庭学習の習慣化について
- ・自学自習賞の取組について
- ・一斉テスト（漢字・計算）について
- ・算数科指導方法の改善について
- ・読書活動の充実について
- ・「種足小家庭読書の日」の新設について

課題

- ・一層の読書の推進について
- ・保護者と連携した家庭学習の充実について

②豊かな心

成果

- ・特別活動の充実について
- ・自然体験活動の充実について
- ・他校や異学年・異校種交流の充実について
- ・道徳教育の充実について
- ・月例の児童支援委員会による生徒指導情報の共有について
- ・種足小の地域性や伝統に基づく豊かな体験・交流活動について

課題

- ・ゲーム、スマートフォンについて（情報モラル）

③体力・健康

成果

- ・さわやか運動（毎週水曜日）の実施について
- ・新体力テストについて

課題

- ・スクリーンタイム削減に向けたルールづくりについて

④家庭・地域連携

成果

- ・学校応援団による支援について
- ・家庭・地域に向けた教育活動に関する情報発信について

課題

- ・打合せ時間の確保について
- ・学校の取組の周知と家庭と連携した取組について

教務主任

1 1月中旬から現在までの学校生活の様子について
種足小 HP「学校生活の様子」の紹介

	<ul style="list-style-type: none"> ・校内持久走大会 ・騎西中学校区小中交流会 ・2学期末学習参観・学級懇談会 ・書きぞめ競書会 ・大掃除 ・音楽集会 ・第2学期終業式 ・第3学期始業式 ・こども安全見守り講座（第2回PTA家庭教育学級） ・ビブリオバトル（知的書評合戦） ・グラウンドゴルフ ・幼小交流会 ・第4回校内授業研究会 ・節分おにごっこ ・第5回校内授業研究会
若山会長	<p>(2) 意見交換</p> <p>各学年の授業を見て、こどもたちが元気に過ごしている様子が分かりました。特にひまわり学級の児童が生き生きと活動を楽しんでいる様子が印象的でした。学習用端末の活用も慣れている様子でしたが、どのような指導をしていますか。</p>
教務主任	<p>発達段階に応じて指導をしています。</p> <p>高学年では端末を授業で日常的に使っています。中学年ではタイピングに慣れる練習をしています。低学年も、先日の幼小交流会のお絵かきのように、発達段階に合わせて活用できるように指導しています。</p>
金子委員	<p>ICTを活用しわかりやすい授業を行っていました。こどもたちも使いこなしている様子でした。家庭でも情報機器に触れる時間がありますが、それにより読書の時間が減ることが心配なので、動画などは、予め時間を決めて見させています。</p>
台委員	<p>学力向上が目覚ましいです。こどもたちの興味・関心が高まるように科学的根拠に基づいた取組を2年間継続して行ってきた教職員の地道な努力の成果です。多様な児童への細かい対応が結果として表れているのだと思います。</p> <p>スマートフォン・タブレットから離れられないのは、大人も同じです。タイマーをかけるなど、物理的に自分を止める工夫をする必</p>

栗原委員

要があります。親の声掛けも重要です。家庭では予め子どもとルールを決め、そのルールを守れたら褒めるとよいです。

掲示物を見ると、1年間の積み重ねが分かります。どの学級も真剣に学習に取り組んでいました。インフルエンザで出席停止による空席もあり、心配になりました。2年生の算数では、ものさしを上手に使っていました。Canvaによるまとめも上手にできていました。

田島委員

学級全員の前で、作文を発表している学級がありました。小学校のうちに、そのような人前で発表する機会を多く経験させてほしいです。紹介のあったビブリオバトル（知的書評合戦）などは、人前で発表するよい機会です。Canvaでのまとめは、大人も感心する出来映えでした。短時間にクオリティの高いものが仕上がると、子どもたちのモチベーションも上がります。

安藤委員

全体的に集中して授業を受けていることに大変驚きました。どの学年も楽しそうで、真剣さが伝わってきました。子どもたちに成功体験を与える取組が多くありました。子どもたちも成長を実感している様子でした。掲示物を見てもどの子もしっかりと取り組んでいることが分かります。また、学校の周りの樹木が整備され綺麗なもよいことだと思います。

青木校長

県立騎西特別支援学校との交流や埼玉県環境科学国際センターとの連携など、県立の施設が学区内に複数あるのは本校の強みです。

12月に行った「騎西中学校区小中学校交流会」は、騎西中学校区独自の取組で、本年度が2年目となります。中1ギャップ解消と不登校の未然防止を目的にゼロ予算で行っています。

学校の働き方改革が進んだことにより、保護者からの相談や苦情が以前と比べ減りました。これにより、放課後に教員がしっかりと次の日の授業準備ができ、それが「わかる楽しい授業づくり」につながっています。

また、児童減少に伴い、教育活動の見直しも検討していく必要があります。例えば、クラブ活動や委員会活動、鼓笛などです。来年度は今年度同様に行いますが、今後は検討が必要です。

PTAの負担軽減では、資源回収を年3回から年2回にし、今年度はうち1回を持込み型に変更しました。来年度の資源回収は、今年度と同様に1回目は職員と保護者が共に汗を流す回収型での実施を考えています。親子除草も今年度と同様の方法を考えています。子どもたちのために、教職員、保護者、地域の方々が一緒に汗をかく

<p>教頭</p> <p>教頭</p>	<p>ことは大変ですが大切なことだと考えています。</p> <p>(2) 学校関係者評価について それでは、学校関係者評価をお願いします。お手元にある用紙に評価の記入をお願いします。</p> <p>5 閉会 皆様から、多くのお褒めの言葉と本校の教育をよりよくするための貴重な御意見をいただきありがとうございました。職員に伝え、今後の教育活動に活かしてまいります。</p>
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>令和8年2月13日</p> <p style="text-align: right;">署名 <u> 教頭 田島 直樹 </u></p>	

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。